

NONO  
10.7  
SAT  
12.17  
SUN



やなぎみわ《案内嬢の部屋 B1》1997年 ダイレクトプリント 大阪中之島美術館

—— 小磯良平生誕 120 年特別展 ——

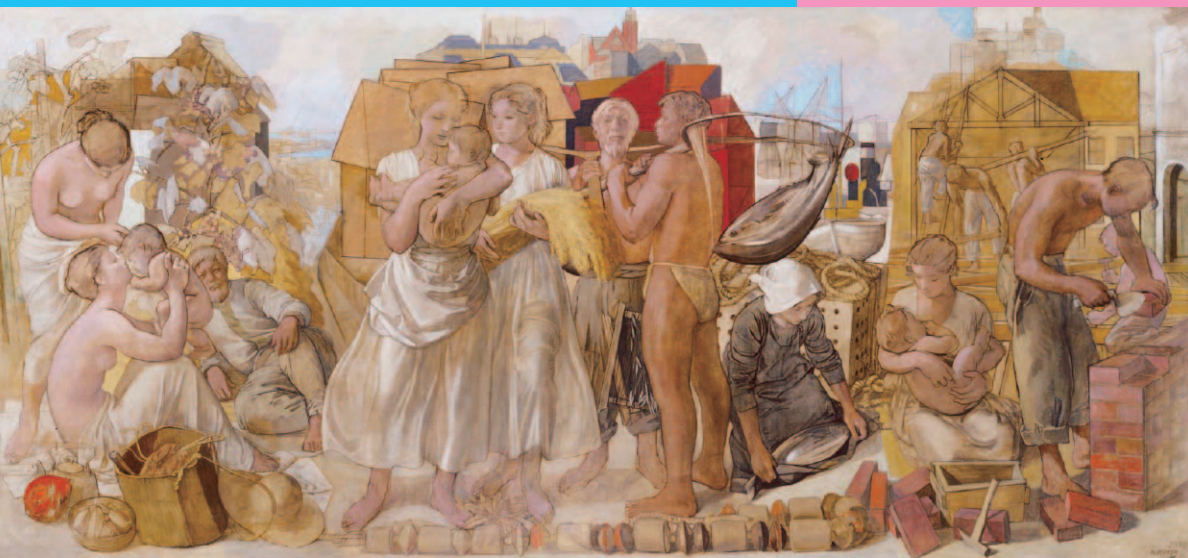
# 働く人びと

働くってなんだ？ 日本 <sup>戦後</sup> / 現代の人間主義 <sup>ヒューマニズム</sup>

〒658-0032 神戸市東灘区向洋町中 5-7 (六甲アイランド公園内) TEL : 078-857-5880 FAX : 078-857-3737

神戸市立小磯記念美術館  
Kobe City Koiso Memorial Museum of Art

KOBE CITY  
KOISO MEMORIAL  
MUSEUM OF ART



小磯良平《働く人びと》1953年 油彩・キャンバス 神戸市立小磯記念美術館寄託



臨田和《魚網》1952年  
油彩・キャンバス 福岡市美術館



海老原喜之助《船を造る人》1954年  
油彩・キャンバス 北九州市立美術館

■主催：神戸市立小磯記念美術館、神戸新聞社

■協賛：一般財団法人みなと銀行文化振興財団 ■後援：神戸新交通株式会社、NHK 神戸放送局、サンテレビジョン、ラジオ関西

開館時間▶午前10時～午後5時(入館は午後4時30分まで) / 休館日▶毎週月曜日、10月10日(火) [ただし10月9日(月)は開館] / 入館料▶一般：1000(800)円  
・大学生 500(250)円 ※○内は20名以上の団体料金・高校生以下無料(学生証、生徒手帳などをご提示ください)・神戸市在住の65歳以上の方：500円(住所と年齢が証明できるもの  
をご提示ください)障がい者手帳、またはスマートフォンアプリ「ミライロID」ご提示で無料。「神戸ゆかりの美術館」「神戸ファッション美術館」へは、当日入館券(半券)のご提示により、  
割引料金で入館できます。



# 働く人びと 働くてなんだ？日本戦後/現代の人間主義

「働く人」をテーマとした展覧会を開催します。

生きるために何かを生み出す、働くという行為は、いつの時代にも人間にとって離れることのできない根源的なものです。「働く人」は美術においてひとつの大きな主題として取り上げられ、私たちの胸を打つ作品が数多く作り出されてきました。本展では、そのような「働く人」を表現した作品の中から、終戦より今日にいたるまでの、美術家たちの多様な試みを紹介します。小磯良平が1953（昭和28）年に発表した、画業最大の作品《働く人びと》（194.0×419.0 cm）も5年ぶりにご覧いただけます。

画家の関心や社会状況を反映し、時に切々と、時にユーモアを持って表現された働く人の姿を通して、「働くとは何か」を問いなおしたいと思います。「働く人」の多彩な表現が放つエネルギーは、今を生きる人たちへのエールとなることでしょう。

歴史に残る労働争議



内田巖 《歌声よ起これ（文化を守る人々）》  
1948年 油彩・キャンバス  
東京国立近代美術館

時代を越えた農民や漁師の姿



猪熊弦一郎 《からす》 1953年 油彩・キャンバス  
丸亀市猪熊弦一郎現代美術館 ©The MIMCOA Foundation

「働く人」連作が一堂に



小磯良平 《麦刈り》  
1954年 油彩・キャンバス  
姫路市立美術館

サラリーマンとしての私たち



会田誠 《灰色の山》  
2009-2011年 アクリル・キャンバス  
タグチアートコレクション/タグチ現代芸術基金  
©AIDA Makoto Courtesy of Mizuma Art Gallery



乙うたろう/前光太郎  
《つぼみ》  
2022年 陶器 作家蔵



乙うたろう/前光太郎  
《立て看板》  
2022-2023年 作家蔵



澤田知子 《Recruit/Black》  
2006年 100 Chromogenic prints  
タグチアートコレクション/  
タグチ現代芸術基金  
©Tomoko Sawada

■展示作家 鯉嘯/相笠昌義/会田誠/朝倉摂/猪熊弦一郎/内田巖/梅宮馨四郎/海老原喜之助/大森啓助/尾田龍/桂川寛/北川民次/小磯良平/乙うたろう（前光太郎）/澤田知子/新海覚雄/菅原洸人/須田寿/高山良策/田中忠雄/長尾和/中谷泰/中村宏/西村功/野見山晁治/真鍋博/宮本三郎/やなぎみわ/脇田和（五十音順）

## 会期中のイベント

イベント等は、今後の諸事情により変更する場合があります。最新の情報は美術館公式HPでご確認ください。

### トークショー ※要事前申込

#### ■「現代美術家にとって働くということ」

10/28(土) 午後2時～午後4時 申込締切 10/12(木)

定員：60名

講師：会田誠氏（現代美術家）  
乙うたろう/前光太郎氏  
（小学校教員・現代美術家）

本展出品作家のお二人に、  
自作や日々の活動について語っていただきます。

会場：当館2階 絵画学習室  
・申込方法は当館HPをご確認ください。  
・特別展入館券が必要です。



### コンサート ※事前申込不要

#### ■「ノルウェーの農民舞曲をきく」

11/5(日) 午後2時～2時半

演奏者：梶原聡子氏

ノルウェーの民俗楽器ハーディングフェーレの演奏家  
梶原聡子氏に、農民舞曲を演奏していただきます。



©sijje Holte

### 赤ちゃん家族の日 ※事前申込不要

毎月第三木曜日 10/19(木)、11/16(木)

未就学のお子様を連れて大人の方2名まで割引料金(800円)で入館いただけます。  
「赤ちゃん家族でトーク」(午後1時より30分)詳細は当館HPをご確認ください。

### 子供のためのワークショップ ※要事前申込

#### ■びじゅつかん大作戦 10月

「未来の自分の姿を作ってみよう」

10/14(土) 午後2時～4時 申込締切 9/28(木)

定員：20名 対象：4歳～中学生

特別展を見て、未来の自分が「働く」姿を想像し、工作をしよう。

#### ■びじゅつかん大作戦 11月

「レリーフに挑戦！」

11/11(土) 午後2時～4時 申込締切 10/26(木)

定員：20名 対象：4歳～中学生

特別展を見て、お気に入りの仕事をコレクション！レリーフ（浮彫彫刻）  
風に表現しよう。

・未就学児は保護者の付き添いが必要です。  
大人の付き添い入館料は割引料金 800円です。  
・申込方法は当館HPをご確認ください。



### 大人のためのワークショップ ※要事前申込

#### ■「大人の図画工作 新聞紙で“造形あそび”」

12/2(土) 午後2時～4時 申込締切 11/16(木)

定員：20名 対象：高校生以上

“造形あそび”は材料の特性を生かして思いのままに形を作る活動です。  
子供の心にかえり、新聞紙をねじってつなげて、  
表現しましょう。

・申込方法は当館HPをご確認ください。  
・特別展入館券が必要です。



## 隣の美術館のお知らせ

### ■第10回日展

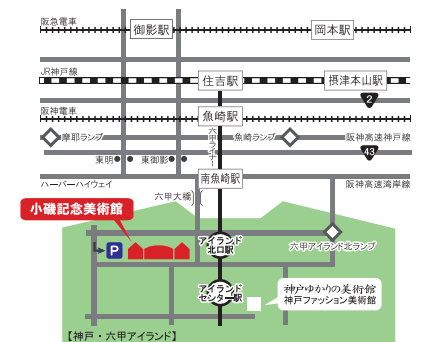
期間：2024年2月17日(土)～3月24日(日)

会場：神戸ゆかりの美術館、神戸ファッション美術館

## 交通案内

■電車 JR住吉駅、阪神魚崎駅のりかえ 六甲ライナー「アイランド北口駅(小磯記念美術館前)」下車西へ徒歩すぐ

■バス 阪急「御影駅」南側よりみなと観光バス131系統「ウエストコート3番街前」下車すぐ/ JR「新神戸駅」よりみなと観光バス21系統「神戸ベイシールドホテル」下車徒歩7分  
※美術館の地下に六甲アイランド公園西駐車場(有料)があります。



〒658-0032 神戸市東灘区向洋町中5丁目7  
TEL 078-857-5880 FAX 078-857-3737  
https://www.city.kobe.lg.jp/koisomuseum/

神戸市立小磯記念美術館  
Kobe City Koiso Memorial Museum of Art

